

日高一榮 (泉北郡濱寺町下)
 岸本正男 (泉南郡西信達村岡田浦)
 山本貞三 (泉北郡濱寺町下)
 池田義久 (泉北郡羽衣町遠藤方)
 芝田好松 ()

池田作太郎 (岸和田市宮本町)
 宮本 勝 (泉南郡八木村)
 雫 山太郎 (泉北郡菟石町南)
 伴長 市 (和歌山市東長町四)

●本線支部

雑賀清治 (和歌山市海郡郡貴志村字土入)
 阪田義淵 (市内港區大正通八三)
 東野茂治 (泉南郡禮井)
 北川勝造 (泉南郡熊取村大久保)
 藤井良雄 (和歌山海草郡岡崎村)
 栢原豊一 (泉南郡麻生郷村海塚)

山下近一 (市内西成區花園町)
 新庄朝一 (住吉區安立町四丁目一〇四)
 山本重治 (岸和田宮本町一五三八)
 中野三造 (市内港區千代見町二の十一)
 星川實太郎 (住吉區濱口町一〇九)
 (八月一日調査に依る)

かくて労働階級の生存権擁護のために勇敢にも一週日に渡り支配階級の牙城に肉迫を續けた南海ストライキも

暴虐に彈壓、加ふるにドラク幹部の裏切りの爲遂に七月二十日五十二名の犠牲者を出し、萬涙をのんで惨敗の屈辱を忍び、敗余の旗を捲くべく餘儀なくされた。

◇ 争議に對する批判

南大阪の交通權を獨占する渡邊千代三郎社長の南海鐵道株式會社では一つの社會波紋を捲き起した。それはかねて愛社的精神を以つて創立の信條させる南海同志會(二千四百名)が十三日夜泉南郡佐野町に勢揃をなすと共に高野山に立て籠り會社に對抗する爲に一週間に涉り團結的威力を示したが、悲惨にも罷業側の精氣つき、去る七月二十日五十幾名の犠牲者を出し罷業は全く終了したのである。聴く所による會社では明年の普通總選舉に岡田事務が出馬するので同志會を抱き込んで労働農民黨加入を防止し經濟的にも大いに利用せんとの魂膽らしかつたのである。同志會は從來他團體に交渉聯絡を斷つて居たが今度は勞農黨、交通總聯盟その他友誼團體の應援を得て戦つたのである。今回の南海罷業は會社側ではその責任を極力罷業側に轉嫁せんとしてゐるが如何に南海當局が辯明してもその責任は會社にある。何ぜなれば同社は地方鐵道法によつて政府の援助を受け年々法定制限